



三浦半島労福協ニュース

NO. 76

〒238-0006 横須賀市日の出町1-5 ヴェルクよこすか3F 三浦半島地域労働者福祉協議会
発行人：中澤謙介 編集人：許斐正典、篠原恭久

2024年8月7日発行

コラボ企画、ニュークリア・フュエル・ユニオンによる 夏休み企画『ふれあいキャンプ』開催の報告！



三浦半島労福協の構成組織のニュークリア・フュエル・ユニオンは毎年、(株)グローバル・ニュークリア・フュエル・ジャパンの労使で共同運営するGNF-Jボランティア基金を活用し、夏休み期間に児童施設の児童たちを招待して『ふれあいキャンプ』を行っています。この活動に対して、三浦半島労福協はコラボ事業として協賛しています。今年は日産労組追浜支部様にもご協力いただきました。

今年度は7月26日(金)~27日(土)に、幸保愛児園と鎌倉児童ホームを招待し、三浦市の三浦YMCAグローバル・エコ・ビレッジにて一泊二日のふれあいキャンプを実施しました。

キャンプ初日は気持ちの良い晴天となり、キャンプ場に行く前に「横須賀市リサイクルプラザ アイクル」に立ち寄り、家庭から出されたゴミをリサイクルする流れや作業内容を学びました。ごみを運搬する工場内のクレーン作業を見学した際には子供たちから「トイストーリーに出てくるやつだ！」と驚きの声が上がりました。家庭ゴミを分別する理由や大切さついて学ぶ良い機会になったのではないかと思います。

昼食は日産労組追浜支部様にお弁当を提供して頂き、日産追浜支部組合事務所内でいただきました。昼食後は日産追浜区工場のゲストルームに案内していただき、展示された車や製造の流れ、エンジン、アクセル、ブレーキの仕組みなど子供たちは目を輝かせながら見学していました。滞在予定時間になり子供たちから「もう少し居たい」と引き留められるほど楽しんでいました。

キャンプ場に到着し、子供たちはレクリエーションとして企画した海水浴を楽しみながら、幸保愛児園、鎌倉児童ホームの児童同士や、施設間ならびにボランティアスタッフの交流を深めました。

体をいっぱい動かした後は屋外でBBQを行い、夜は夏ならではの花火を楽しみました。少し風が強くと線香花火がすぐに落ちてしまうなど子供たちは苦戦していましたが、子供たち自身の体で風を遮るなど工夫をして楽しんでいました。

2日目は、三笠公園で戦艦「三笠」を見学する予定でしたが、当日の気温が高く子供たちの体調に配慮し、予定を変更して朝から海水浴を楽しむことになりました。海水浴を楽しんだ後はコースカベイサイドストアーズに移動し、班ごとの話し合いで昼食を選び他のお客さんの迷惑にならないよう行動しました。昼食後は横須賀ならではの軍港巡りを楽しみ、海上自衛隊の潜水艦や護衛艦、米海軍のイービス艦、潜水艦など艦船の名前や役割、そして歴史を学びました。また、運よく横須賀基地に帰港途中の「いずも」を間近で見ることができ、子供だけでなく大人たちも大喜びでした。前日の疲れからか乗船中に寝てしまった子供たちが居ましたが、解散間際までテンションが高い子供たちの姿を見せてもらいボランティアスタッフにとっても有意義な時間となりました。

夏のキャンプ企画ということで、近年気温が高くなっていることから熱中症や怪我の心配もありましたが、熱中症や大きなケガもなく終始子供たちの楽しそうな表情を見ることができ、開催できて良かったと思います。今後も児童養護施設の力になれるよう、継続して活動していきたいと考えております。



構成組織役員交流ボウリング大会開催!



7月29日(月)18時30分より、スポーツよこすかボウリング場にて『三浦半島労福協・地域連合構成組織・団体交流ボウリング大会』を開催し、49名の方が参加しました。

新型コロナウイルスも5類へ移行になったことを受けて、

組織をバラバラのチームにして、各組織間の交流をメインとして開催しました。労福協中澤会長と地域連合及川議長の始球式でスタート、2019年の構成組織対抗以来の久々のボウリング大会に参加者の皆さんと交流を図りながら、2ゲームを約1時間プレイし、その後、簡易的な表彰式を開催し、終了しました。皆さんの協力により、怪我もなく無事に終了することが出来ま



した。

成績は●個人の部の優勝は芝浦メカトロニクス労組の椿亮さんで312ピン、準優勝は住重労連の安藤高虎さんで306ピン、3位は東芝ライテックユニオンの藤田正弘さんで301ピンとなりました。●団体の部は優勝Dチーム、準優勝Gチーム、3位Bチームとなりました。



「平和」「人権」について考える夏! 労福協コラボ企画「平和作品展&親子映画」

三教組と三浦半島労福協コラボ企画、「第36回平和作品展」が8月2日(金)から、8月5日(月)にかけて横須賀三浦教育会館で、「親子映画」が8月3日(土)に横須賀総合高校で、それぞれ開催されました。両イベントを通して、約280名もの家族連れを中心とした来場者が訪れ、「平和」・「人権」について考える良い機会となりました。

平和作品展

平和作品展は、三浦半島内(横須賀市・逗子市・葉山町・三浦市)の児童・生徒の作品を、横須賀三浦教育会館ホールを会場に展示しています。今年は、1,200名を超える小・中学生、高校生の平和への願いをこめた絵画や迫力のある合同作品の他、川柳・作文・感想文等が展示されました。また、平和に関する書籍を読むスペースもありました。作品を出品した児童・生徒には、参加賞として、主催者と三浦半島労福協連名で消しゴムをプレゼントしました。

また、会場には労福協から「フードバンク」の活動を紹介するコーナーを設け、募金も呼びかけました。多くのご家族がプラカードを読んだり、コースターを持ち帰ったりするなど、関心を寄せていました。募金は3,579円が集まりました。

親子映画

親子映画は、「子どもたちの幸せと平和」を願い、毎年この時期に開催しています。今年は、ハンセン病への差別と人はなぜ生きるのかという根源的な問いを考える作品「あん」を上映しました。また、親子だけでなく、この作品に興味を持ち参加された教員や労福協の案内を見て参加された方もいて、大変好評でした。

